

P R E S S R E L E A S E



報道関係者各位

2017年8月29日

株式会社レノバ

四日市ソーラー事業プロジェクトファイナンス組成のお知らせ

～三重県環境影響評価条例に対応した大規模太陽光として初の発電事業～

三重県四日市市にて大規模太陽光発電所の設置を計画している株式会社レノバ（本社：東京都千代田区大手町、代表取締役社長 CEO 木南陽介）が主導する四日市ソーラー事業において、8月29日、当該事業のプロジェクトファイナンスを組成しましたのでお知らせします。

本事業は、太陽光発電事業としては三重県初の適用となる、環境影響評価条例（1998年三重県条例第49号）に基づく環境影響評価を2015年3月より2016年11月までの21ヶ月にわたる期間実施いたしました。

今回組成したプロジェクトファイナンスは、三井住友信託銀行株式会社を主幹事とし、融資契約を締結しました。また融資シンジケートには、地元企業である株式会社三重銀行に参加いただいております。



<イメージ図>

<四日市ソーラー事業 概要>

- 発電所名： 四日市ソーラー発電所
- 所在地： 三重県四日市市桜町
- 出力規模： 約 21.6MW
- 想定年間発電量： 約 2,430 万 kWh（一般家庭 6,750 世帯の年間使用電力に相当）
- 開発面積： 約 68 ha
- 運転開始予定： 2019 年 3 月

※上記事業の概要は現時点での計画値であり、今後変更となることがあります。

また、本事業の開発に当たっては、地域の活性化・経済貢献への一翼を担いつつ、希少動物の保護など周辺環境に配慮した工事を行ってまいります。また、着工から運転開始後まで、安全・防災に配慮し、安全、安心な発電所を目指します。

レノバは本事業の事業計画の策定から、開発プロセス全般を主導してまいりました。今後は、レノバなどが出資する匿名組合事業として「合同会社四日市ソーラー」が事業者となります。

【株式会社レノバについて】

レノバは、2000年5月に環境・エネルギー分野での調査・コンサルティング事業を創業し、2012年から再生可能エネルギーを利用した発電事業を中心に行っている環境ビジネス専門の会社です。現在、大規模太陽光発電所を9カ所（うち2カ所は建設中）、バイオマス発電所を1カ所運営しています。また、日本最大級の洋上風力発電事業の検討を開始するなど、常に先進的な分野へ取り組むことで、日本・アジアにおけるリーディング・カンパニーになることを目指しています。

【報道関係からのお問合せ先】

株式会社レノバ 社長室 田中、窪田

電話：03-3516-6263 メール：press@renovainc.jp